



発行所  
三池炭鉱労働組合  
大牟田市入船町1番地  
大電話(53)3033-4  
編集人 田口芳博  
半年間1,800円 送料共  
振替口座番号  
労働金庫大牟田支店  
825-0000569

# 本年度の合理化は回避か

## 引取り量一〇九一万吨、炭価据置きで決着

第八次石炭政策四年目の本年度国内炭供給問題が四月二十六日、前年度比五十九万吨減で決着しました。需給問題が合理化と九次策に運動することから当面の焦点となっていました。急激な減産と大幅な合理化は回避されたといえ、なお今後の見通しは厳しいものと考えられ、九次策を展望しての現有炭鉱存続のたまたまがますます重要な課題となっています。

政府は四月二十六日、石炭鉱業(減)、原料炭五十九万吨(同一審議会の需給・価格部会を開いて 五万吨減)で、総量一〇九一万吨(同五十九万吨減)となつていました。(別表参照)

本年度の国内炭基準炭価と引き取り量を決定しました。

基準炭価は前年度水準のまま据え置き、引き取り量は一般炭一、炭労協などとともに「需給確保」を緊急課題として、ストライキや

中央行動などを組織し多様なたたかひを取り組んできました。

ユーザーの鉄鋼は、原料炭の半減を主張、電力も一般炭九〇〇万トンを主張する中で、小幅減で決着しましたが、これはたまたまの一心の成果です。しかし、政

府とユーザーの姿勢からみて最終年度はきわめてきびしい予想され、九次策への対応と需給確保保にに向けたたまたまが重要で、なお、需給問題の決着によって三池炭の生産・人員計画を決める生産会議が近く開かれます。

5月8日 第六回委員会  
10日 保安担当者会議  
11日 鉱門ヒラ配布  
12日 社宅問題対社会交渉

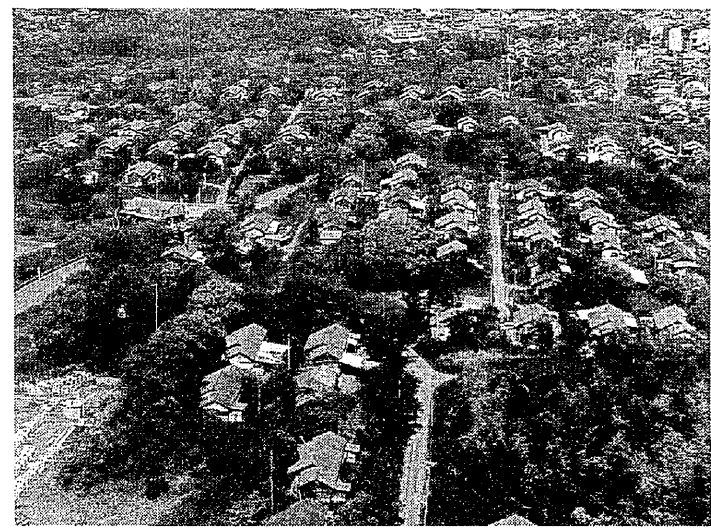
14日 炭労書記長会議  
14日 石炭協九次策委員会  
15日 炭労時短専門委員会  
15日 炭労合同専門委員会  
16/22日 期末監査  
20日 南大夕張労組解散大会  
22日 中央生産会議

国内炭引き取り量 (単位:万吨)

	元年度実績見込み		2年度見通し	
	原料炭	一般炭	原料炭	一般炭
鉄ガ	40		35	
コークス・その他	19		9	
電力	11		11	
一般産業・その他	952	952	916	916
	128	128	120	120
合計	70	1,080	55	1,036
		1,150		1,091

国内炭基準炭価 (単位:円/トン)

炭種	原料炭		一般炭	
	(京浜 CIF 価格)	5,000Kcal/Kg (北電・江別)	6,000Kcal/Kg (京浜 CIF 価格)	
昭和61~63年度基準価格	24,920	14,385	20,355	
平成元年度基準価格 (うち消費税額)	25,668 (748)	14,817 (432)	20,966 (611)	
平成2年度基準価格 (うち消費税額)	25,668 (748)	14,817 (432)	20,966 (611)	



立ち退きが強要されようとしている敷島(手前)、向日葵(左上)、弥生(上方)の各社宅の一部。

# 不透明な社宅政策

## 犠牲を強要する社宅転居

住民の要求に十分応えるべきであり、誠意をもって対処するよう求めます。

### 要求と回答

- 1、中・長期的な社宅計画、社有地利用計画、土地譲渡計画を明らかにせよ。
- 2、人員構成の変化、関連会社との関係、アジアランド構想の推移などを含め、見直しを検討して。
- 3、退職者については、存在社宅への入居を考慮すること。
- 4、退職者は、基本的に転居していただきたい。
- 5、各用地の今後の工程計画を明らかにせよ。

前号既報のように、三池炭業所は緑ヶ丘社宅の一部(敷島町、弥生町、山吹町、向日葵)を九月末までに転居してほしいと提案していた社宅問題で、三池炭業所は要求書に基づいて四月二十八日、三池炭業所と三池港務所との交渉をおこないました。

要求では、この計画の背景にはアジアランド構想、コンコルディア・プラネット構想があり、用地売却による会社都合の転居であることから、一方的に犠牲を強要するのではなく、社宅居住者と地域との関係が示されませんでした。

前号既報の要約を再掲すると、三池炭業所は、五項目の要求を含めて前号の回答は示されず、犠牲強要が明らかになっています。三池炭業所は、この会社の回答は到底認められないとして五月十二日、再度交渉をおこないましたが、前進回答は示されませんでした。

# 春闘、低額で妥結

## 一方当たり二九〇円(三・三二%)

賃金一方当たり六六〇円(八%)妥結し、決着しました。

引き上げを中心に、家族手当、最低賃金、災害補償の引き上げ、さらには労働時間短縮などを要求して四月十八日から各社集合交渉をおこなっていた炭労の春闘は、二十四時間ストライキ突入を前にした二十三日、縮小交渉の中で賃金一方当たり二九〇円引き上げが提示され、太平洋と松島が午後十一時二十分妥結、三井と住友はストライキ回避後の翌二十四日午後二時

賃金一方当たり二九〇円(三・三二%)。但し、三井については、うち一四五円はハネ返りなし。最低賃金 坑内員六、二〇〇円、

坑外員四、九五七円。

災害補償 弔慰金は現行通り(二、五〇〇万円)。業務上災害見舞金は第一級で二万円引き上げて二、五〇〇万円(有扶)第十四級まで段階ごとに引き上げ。退職金も第一級から第三級まで段階ごとに引き上げ。通勤途上災害は有扶二〇〇万円、その他一五五万円。

時短(特定休日)賃金取り扱いは現行通り。日数は来年度に二日増で年間十四日とする。

炭労では、不満足な結果ながら現状ではやむなしとし、九次策の検討とともに労働条件向上のため、かき強化するとしています。

### 妥結内容

賃金 一方当たり二九〇円(三・三二%)。但し、三井については、うち一四五円はハネ返りなし。最低賃金 坑内員六、二〇〇円、坑外員四、九五七円。

災害補償 弔慰金は現行通り(二、五〇〇万円)。業務上災害見舞金は第一級で二万円引き上げて二、五〇〇万円(有扶)第十四級まで段階ごとに引き上げ。退職金も第一級から第三級まで段階ごとに引き上げ。通勤途上災害は有扶二〇〇万円、その他一五五万円。

時短(特定休日)賃金取り扱いは現行通り。日数は来年度に二日増で年間十四日とする。

炭労では、不満足な結果ながら現状ではやむなしとし、九次策の検討とともに労働条件向上のため、かき強化するとしています。

# 三重野さんを推せん

## 参院福岡補選

23日告示、6月10日投票



経歴  
三重野 栄子(64歳)

小野明氏の死去に伴う参院福岡選挙区の補欠選挙が五月十三日告示、六月十日投票でおこなわれます。自民党は、全力投入で議席をねらい、一野野党会派の取り込みとあわせて参院での優位確保をめざしていますが、この補選は争い合戦であり、必勝を期したたかいか求まられています。

一九二六年(昭和一年生まれ) 四三年福岡県立福岡高等女子学校卒業。四八年福岡第一師範学校女子部専攻科(現教育大学)卒業。福岡市立東光中学校、箱崎中学校教諭を経て進学のため退職。五一年九州大学経済学部卒業。同年岩田屋勤務。八三年筑紫野市会議員に当選、現在に至る。日本婦人会議福岡県本部、福岡県母親大会連絡会事務局次長をつとめ、現在日本社会党福岡県本部副委員長。

# 悪政許さぬ参院議席確保へ

# 港務所春闘も妥結

三池港務所の春闘は、月額一六、五七八円(八%)増額。災害補償、賃金は石炭と同様。時短については、四年以内に段階的に十二日間の休日増を実施。退職手当、交際手当もそれぞれ算定、改訂されました。